

(様式7)

事業計画書目次

[瀬谷 区]

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	健やか瀬谷っ子事業	6,143	6,113	5,811	5,781	332	332	○
2	未来を拓け!瀬谷っ子事業	8,207	8,207	8,207	8,207	0	0	
3	青少年育成支援事業	2,152	2,152	2,104	2,104	48	48	○
4	児童虐待防止対策事業	1,879	1,879	1,423	1,423	456	456	○
5	健康せや推進事業	3,302	3,302	3,986	3,986	△ 684	△ 684	
6	地域福祉保健計画推進事業	2,294	2,294	4,217	4,217	△ 1,923	△ 1,923	
7	地域包括ケア推進事業 (旧：高齢者支援事業)	1,406	1,406	1,444	1,444	△ 38	△ 38	
8	高齢者等地域拠点支援事業	510	510	1,520	1,520	△ 1,010	△ 1,010	
9	障害者地域生活支援事業	1,430	1,430	1,430	1,430	0	0	
10	まちの安全支援事業	5,406	5,240	5,604	5,354	△ 198	△ 114	
11	災害等対策事業	11,493	11,493	12,011	12,011	△ 518	△ 518	
12	食の安全と動物愛護等推進事業	794	794	778	778	16	16	
13	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業	9,611	9,516	7,355	7,080	2,256	2,436	○
14	まちづくり推進事業	6,406	6,406	6,514	6,514	△ 108	△ 108	○
15	環境行動推進事業	2,591	2,591	2,499	2,499	92	92	
16	瀬谷区3R夢推進事業	1,355	1,355	1,955	1,955	△ 600	△ 600	
17	区民活動支援事業	11,586	11,586	12,004	12,004	△ 418	△ 418	
18	瀬谷フェスティバル	7,900	7,900	7,900	7,900	0	0	
19	商工業元気アップ事業	3,905	3,905	3,505	3,505	400	400	○
20	窓口サービス向上事業	3,585	3,585	3,014	3,014	571	571	
21	広報・広聴連携事業	1,932	1,872	1,252	1,192	680	680	
	計	93,887	93,536	94,533	93,918	△ 646	△ 382	

令和 4年度 事業計画書

事業区課	瀬谷区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	健やか瀬谷っ子事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,143	0	0	30		6,113
令和3年度	5,811	0	0	30		5,781
増△減	332	0	0	0	0	332

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	6,638	6,993	6,568	6,113	6,113	6,113
	市債+一般財源	6,601	6,953	6,528	6,113	6,113	6,113
決算	事業費	6,505	6,356	4,713			
	市債+一般財源	6,464	6,323	4,713			

事業概要	子育て家庭が安心して子どもを育てられるよう、妊娠中から子育てについての知識や情報を提供するとともに、身近な地域での仲間づくりや育児相談、保育・教育施設の利用の紹介を行うことで、子育て力を高めていけるように支援します。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	区制運営方針の目標達成に向けた施策「子ども・青少年の育成」、瀬谷区地域保健計画の基本目標							
事業目的・効果(必要性)	(1) 「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」では、子育てを楽しく安心して行うためには、子育て中の親同士の仲間づくりのための支援を求める意見が多く、近所との付き合いが親密なほど、生活の満足度が高い傾向となっていることから、身近な地域での仲間づくりを支援する必要があります。 (2) はじめての子どもが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがない人が7割以上となっており、将来子どもを産み育てることのイメージが持ちにくくなっているため、若い世代へのアプローチが必要です。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷区出生数 (R1) : 753人 保育所利用児童数 (R3.4) : 1,702人 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
「瀬谷区 de 子育て」配布数	単位	目標	5000	5000	5000	5000	5000	5000
	冊	実績	5000.0	4500.0				
「子育て応援マップぐるっとなび」配布数	単位	目標	6000	6000	6000	7000	7000	7000
	冊	実績	6000.0	6000.0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	元年度：イヤイヤ期リーフレット作成・印刷 2年度：イヤイヤ期リーフレット配布、来庁者一時託児事業終了(12月末) 3年度：瀬谷区妊娠・出産・子育てマイカレンダー作成 4年度：瀬谷区妊娠・出産・子育てマイカレンダー(外国語版)作成							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	親育ち・子育て事業	2,950	2,898	52
②	思春期命の大切さ啓発事業	180	155	25	回数見直しによる増
③	保育サービス関連事業	558	808	▲ 250	感染症予防による減
④	子育て応援事業	2,455	1,950	505	新規事業による増
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	6,143	5,811	332	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	小澤 美奈子	城 可奈子	佐藤 紅葉

事業区課	瀬谷区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1	目		
事業名称	未来を拓け！瀬谷っ子事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,207	0	0	0		8,207
令和3年度	8,207	0	0	0		8,207
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	3,488	4,010	7,733	8,207	8,207	8,207
	市債+一般財源	3,488	4,010	7,733			
決算	事業費	3,021	3,528	7,447			
	市債+一般財源	3,021	3,528	7,447			

事業概要	小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるよう、学校・地域・団体等と連携した放課後の学習支援や生活支援を行います。また、放課後児童の育成を支援します。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	令和3年度運営方針「子ども・青少年の育成」「健康増進、福祉の充実」							
事業目的・効果(必要性)	瀬谷区では、福祉的な課題を抱える世帯が多く、支援が必要な子どももいます。そこで、すべての子どもたちが社会に出て、自ら考え行動できるよう、学習習慣や学習意欲を身につけるための放課後の学習支援や、社会生活のスキルを学ぶための体験が必要とされています。小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるようにすることを目的としています。							
根拠・データ等	生活保護率(人口比) 市内3位 公営・公社借家比率 市内1位 (H27年国政調査)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学習支援事業参加延人数	単位	目標	-	-	6300	6300	6300	6300
	人	実績	6225.0	2398.0				
	単位	目標	-	-				
		実績						
	単位	目標	-	-				
		実績						
事業スケジュール	平成31年度：寄り添い型生活支援事業「子どもの生活塾」 区内2か所目(南部)を開所。 令和2年度：学習支援事業を10校で実施。 令和3年度～：学習支援事業を区内全校(11校)で実施。アフターフォロー事業実施。							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 生きる力を育む小学生の学習支援事業	3,614	3,689	▲ 75	全校実施済みによる減
	② 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業	3,850	4,250	▲ 400	実績に基づく減
	③ 学習支援ボランティア養成講座	158	158	0	-
	④ 放課後児童育成支援事業	585	110	475	展示手法変更による増
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		8,207	8,207	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	山梨 真奈美	松浦 基晴	村井 利永

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	青少年育成支援事業					

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,152	0	0	0		2,152
令和3年度	2,104	0	0	0		2,104
増△減	48	0	0	0	0	48

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度	
				2,152	2,152	2,152	2,152	2,152	2,152	
事業費	2,426	3,262	2,637							
市債+一般財源	2,426	3,262	2,637							
決算	2,423	2,256	1,454							
市債+一般財源	2,423	2,256	1,454							

事業概要	横浜市子ども・子育て支援事業計画等を推進するため、区民や地域の関連団体、学校等と一緒に、青少年の元気で心豊かな成長を支援します。
事業開始年度	平成21年度
根拠法令・方針決裁等	第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画、今後の青少年の体験活動の推進について(答申)(中教審第160号)、子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月6日 子ども・若者育成支援推進本部決定)、瀬谷区子ども会育成連絡協議会補助金交付要綱
運営方針等との関連	令和3年度瀬谷区運営方針「子ども・青少年の育成」
事業目的・効果(必要性)	新型コロナウイルス感染症の流行、情報化、国際化、少子高齢化の急激な進行等により、子供・若者を取り巻く状況が大きく変化しているとともに、核家族化の進行やインターネット環境が発展していることから、自然や社会などと直接関わり合うことが薄薄となつています。子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月6日 子ども・若者育成支援推進本部決定)では、子供・若者が成長・活躍しているよう、青少年の健やかな育成や、創造的な未来を切り拓く青少年の応援などを方針として設定しております。具体的には、自然体験やボランティア体験などといった地域での社会体験による社交性や自己肯定感の育成、国際交流の促進によるグローバル化社会で活躍する人材の育成などが掲げられており、意図的に地域における体験活動を創出するとともに、国際園芸博覧会を開催を控えた瀬谷区では機運醸成の観点からも国際交流機会の提供が必要です。そのため、様々な体験事業を行うことを通じて、青少年の元気で心豊かな成長を支援します。体験事業の実施については、新型コロナウイルス等の感染状況に応じて、人数の制限やICT機器の活用を実施します。また、瀬谷区子ども会育成連絡協議会等の青少年育成活動を支援します。

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりに関する意識「隣近所との付き合い方」【出典：横浜市民生活白書2019】 「顔もよく知らない……ア」「挨拶ぐらにする……イ」「たまに立ち話する……ウ」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている……エ」「困ったとき、相談したり助け合ったりする……オ」 【1975年】ア：4.8%、イ：34.1%、ウ：26.0%、エ：17.3%、オ：14.5% 【2007年】ア：9.5%、イ：46.3%、ウ：29.7%、エ：6.3%、オ：7.6% 【2018年】ア：14.0%、イ：50.5%、ウ：26.5%、エ：4.8%、オ：3.8% ・市立中高生に対するアンケート「自分のことが好きであるか」 【出典：横浜市「中高生の放課後の過ごし方や体験活動に関するアンケート調査」(平成30年度)】 「まったくあてはまらない」14.4%、「あまりあてはまらない」34.0% ・自然体験と自己肯定感の関係(国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成28年度調査)」) 「自然体験多い」……「自己肯定感高い・やや高い」61.7%、「自己肯定感低い・やや低い」15.0% 「自然体験少ない」……「自己肯定感高い・やや高い」29.1%、「自己肯定感低い・やや低い」42.1% ・社会体験と自己肯定感の関係(国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成28年度調査)」) 「社会体験多い」……「自己肯定感高い・やや高い」61.3%、「自己肯定感低い・やや低い」15.7% 「社会体験少ない」……「自己肯定感高い・やや高い」22.1%、「自己肯定感低い・やや低い」53.9% ・せやっこ体験事業における募集人数に対する応募者倍率 【R2】農業体験：1.4倍、工業体験：2.3倍 【R3】農業体験：1.6倍、工業体験：2.7倍 (R3.9.1時点) ・瀬谷区ボランティアセンター実施状況 【R2】ボランティア紹介人数：338人 (R2.4~R2.7集計) ※ (R2.4~R3.1) 1,559人 【R3】ボランティア紹介人数：479人 (R3.4~R3.7集計) ・横浜市内外国人人口の推移(各年4月末時点。2011年までは外国人登録者数) 2006年：70,676人、2011年：77,454人、2016年：83,596人、2019年：100,227人
---------	---

事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
せやっこ体験事業参加数	単位	目標	133	74	59	78	78	78
	人	実績	109.0	59.0				
せやっこだより発行回数	単位	目標	6	4	4	4	4	4
	回	実績	5.0	3.0				
中高生ボランティア活動証明書発行数	単位	目標	113	6	10	110	110	110
	人	実績	113	6				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業の実施 ・令和2年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業の実施 ・令和3年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業の実施 ・令和4年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業及び創造的な未来を切り拓く青少年の応援 ・令和5年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業及び創造的な未来を切り拓く青少年の応援 							

(単位:千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	せやっこ体験事業	1,607	1,559	48	体験回数増による増
②	ボランティア促進事業	445	445	0		
③	青少年関連団体支援事業	100	100	0		
④		0	0	0		
⑤		0	0	0		
⑥		0	0	0		
⑦		0	0	0		
⑧		0	0	0		
⑨		0	0	0		
⑩		0	0	0		
	細事業合計		2,152	2,104	48	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 松岡 文和	係長 金原 宗武	区民協働推進係 藤原 史成
--------------------	----------	----------	---------------

事業区課	瀬谷区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	児童虐待防止対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,879	0	0	0		1,879
令和3年度	1,423	0	0	0		1,423
増△減	456	0	0	0	0	456

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,380	1,286	1,293	1,879	1,879	1,879
	市債+一般財源	1,380	1,286	1,293	1,879	1,879	1,879
決算	事業費	1,280	1,202	719			
	市債+一般財源	1,280	1,202	719			

事業概要	地域の見守り力を高め、瀬谷区全体で児童虐待の早期発見や予防ができるよう、児童虐待防止対策事業を行います。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	児童福祉法、児童虐待防止法、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	目標達成に向けた施策「子ども・青少年の育成」							
事業目的・効果(必要性)	(1)瀬谷区は、経済的な困窮、障害、多子、若年出産などの課題を複合的に抱えた家庭が多いため、適切に養育できるよう支援が必要です。 (2)児童虐待の防止や早期対応をしていくために、地域や学校等関係機関と連携の強化を図る必要があります。							
根拠・データ等	生活保護率（人口割合）…令和2年3月 市内3位 多子の割合（出生児比）…平成30年 市内1位 19歳以下の母の出生数…平成30年 市内3位							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域向け講演会参加者数	単位	目標	-	-	100	100	100	100
	人	実績	79.0	79.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月 こども家庭総合支援拠点機能の設置に向け、こどもの権利擁護担当の体制確保 令和3年10月 こども家庭総合支援拠点機能が瀬谷区を含む10区で開始 令和4年10月 こども家庭総合支援拠点機能の全区整備 							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	児童虐待防止対策事業	945	769	176
②	児童虐待防止啓発事業	934	654	280	パネル展開催方法の変更 による増
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	1,879	1,423	456	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	小澤 美奈子	城 可奈子	脇 菜穂子

事業区課	瀬谷区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	健康せや推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,302					3,302
令和3年度	3,986					3,986
増△減	△ 684	0	0	0	0	△ 684

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	7,359	5,983	4,987	4,000	4,000	4,000
	市債+一般財源	7,359	5,983	4,987	4,000	4,000	4,000
決算	事業費	6,456	5,740	3,219			
	市債+一般財源	6,456	5,740	3,219			

事業概要	生活習慣病予防のために、幼少期から食生活や歯の健康の適切な生活習慣を身につけることの大切さを伝えるなど、あらゆる世代へ健康づくりに関する知識の普及啓発を行い、ウォーキング等を通じて区民の健康づくりの推進を支援します。
事業開始年度	平成18年度
根拠法令・方針決裁等	がん対策基本法、健康増進法、感染症法、よこはま健康アクション、食育基本法、健康横浜21計画、瀬谷区地域福祉保健計画、第2期横浜市食育推進計画
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 健康増進、福祉の充実
事業目的・効果(必要性)	瀬谷区は市内18区中がん検診の受診率が低く、また、生活保護受給率が高く、男女とも喫煙率が高い傾向にあり、平均寿命、健康寿命共に市平均より低い状況です。そこで特定健診やがん検診受診を促し、血圧や、血中二酸化炭素濃度の測定、血管年齢の測定などの健康チェックを実施して区民が自身の健康に関心を持つ機会とし、生活習慣病の予防につなげます。また、健康な生活を送るためには、幼少期から食事や歯に関する家庭での適切な生活習慣を身につけるための知識の普及啓発が必要です。さらには、健康維持のために、ウォーキングをはじめとした健康づくりの習慣を地域で展開していけるよう支援します。上記の事業を実施することにより、瀬谷区の健康に関する課題を解決し、子どもから高齢者までの幅広い年齢層を対象に区民の生涯にわたる健康づくりに寄与し、健康寿命の延伸を目指します。

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 肺がんを除くがん検診の受診率が市の平均を下回っている。(健康福祉局保健事業課がん検診区別受診者数 令和2年度調査) 男性40代の喫煙習慣のある人の割合が18区中第1位と高い(H29年度 協会けんぽ神奈川支部加入者生活習慣病予防検診データ) 女性の喫煙習慣がある人の割合が18区中第2位と高い(H27年度 衛生研究所各区の健康関連データ分析結果) 横浜市の生活保護率が1.83%に比して瀬谷区は3.23%と高率である。(令和3年度区勢統計要覧 令和元年の状況) 「健康づくりに役立つ活動」が地域交流として参加してみたい項目の1位(39.4%)である。(令和元年度区民意識調査結果より)
---------	---

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
特定健診受診率 (目標値は本市目標値)	単位	目標	30.5	33.0	35.5	38.0	40.5	40.5	40.5
	%	実績	23.50	20.60					
がん検診受診率 (胃・子宮・乳・大腸・肺の平均 目標値は健康横浜21 第2期2013年～2022年)	単位	目標	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
	%	実績	13.37	11.28					
	単位	目標							
	組	実績							

事業スケジュール	平成18年度：事業開始 平成27年度：「第1回瀬谷区からだまるごと健康フェア」開催 令和2年度：新型コロナ感染拡大により「瀬谷区元気フェスタ」(旧「瀬谷区からだまるごと健康フェア」)等中止 令和3年度：同上 令和4年度：集合型イベントである「瀬谷区元気フェスタ」を転換し、地域に出向いて実施する地域分散型の事業を実施
----------	--

(単位：千円)

細事業名称	4年度		3年度		差引(増減)	増減説明
	4年度	3年度	4年度	3年度		
① 生活習慣病予防推進事業	743	643			100	実績に基づく増
② 瀬谷区元気フェスタ	1,014	1,732			▲ 718	事業内容変更による減
③ 食育・健口事業	1,276	1,222			54	制作物見直しによる増
④ ウォーキング等健康推進事業	269	389			▲ 120	チラシ作成終了に伴う減
⑤	0	0			0	
⑥	0	0			0	
⑦	0	0			0	
⑧	0	0			0	
⑨	0	0			0	
⑩	0	0			0	
細事業合計	3,302	3,986			▲ 684	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	吉川 正則	長尾 眞佐枝	清田 三恵

事業区課	瀬谷区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	地域福祉保健計画推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,294	0	0	0		2,294
令和3年度	4,217	0	0	0		4,217
増△減	△ 1,923	0	0	0	0	△ 1,923

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	3,015	4,775	5,176	2,500	2,500	4,200
	市債＋一般財源	3,015	4,775	5,176	2,500	2,500	4,200
決算	事業費	2,824	4,264	4,260			
	市債＋一般財源	2,824	4,264	4,260			

事業概要	社会福祉法（第107条）に位置付けられた行政計画として策定した第4期瀬谷区地域福祉保健計画をもとに、地域住民と関係機関等の「協働」を通じて、「住民主体」の地域活動を支援し、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるまちづくりを推進します。																																																																										
事業開始年度	平成22年度																																																																										
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法、横浜市地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画・地区別計画推進事業補助金交付要綱																																																																										
運営方針等との関連	目標達成に向けた施策「健康増進・福祉の充実」																																																																										
事業目的・効果（必要性）	<p>瀬谷区では、人口の減少（R2：124千人→R22：105千人）や高齢化（R2：28.2%→R22：36.5%）が進んでいる状況に伴い、住民同士のつながりの希薄化や「社会的孤立」「複合的な課題」「制度のはざまの問題」等、個々の課題が複雑化・多様化しています。それらの課題を解決するためには、行政の公的支援（公助）だけでなく、住民同士のつながりの構築（自助・共助）や地域住民と関係機関等が協力して課題解決に向けて取り組むための包括的な体制（協働）の整備が必要とされています。</p> <p>本事業では、地域福祉保健計画を策定することで、地域住民と関係機関等が地域の現状や課題、目標を共有し、それぞれの役割をもって地域福祉保健を推進します。第4期瀬谷区地域福祉保健計画では居場所づくりやネットワーク構築等に向けて、これまで培ってきた地域の力を最大限発揮できるよう、各関係機関で構成された地区支援チームを中心に各地区の取組を支援し、計画の基本理念である「みんなで作る みんなのしあわせ」を目指します。</p>																																																																										
根拠・データ等	<table border="1"> <tr> <td>瀬谷区統計</td> <td>H27年度</td> <td>R2年度</td> <td>R7年度</td> <td>R22年度</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>122,671人</td> <td>124,196人</td> <td>117,905人</td> <td>104,926人</td> </tr> <tr> <td>高齢者人口</td> <td>32,842人</td> <td>35,015人</td> <td>34,490人</td> <td>38,343人</td> </tr> <tr> <td>年少人口</td> <td>16,525人</td> <td>14,776人</td> <td>13,393人</td> <td>12,369人</td> </tr> <tr> <td>身体障害者手帳交付数</td> <td>4,043人</td> <td>4,032人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>知的障害者「愛の手帳」交付者数</td> <td>1,335人</td> <td>1,604人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>精神障害者保健福祉手帳所持者数</td> <td>1,424人</td> <td>1,836人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>自立支援医療（精神通院）</td> <td>1,446人</td> <td>3,140人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>								瀬谷区統計	H27年度	R2年度	R7年度	R22年度	人口	122,671人	124,196人	117,905人	104,926人	高齢者人口	32,842人	35,015人	34,490人	38,343人	年少人口	16,525人	14,776人	13,393人	12,369人	身体障害者手帳交付数	4,043人	4,032人	—	—	知的障害者「愛の手帳」交付者数	1,335人	1,604人	—	—	精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,424人	1,836人	—	—	自立支援医療（精神通院）	1,446人	3,140人	—	—																											
瀬谷区統計	H27年度	R2年度	R7年度	R22年度																																																																							
人口	122,671人	124,196人	117,905人	104,926人																																																																							
高齢者人口	32,842人	35,015人	34,490人	38,343人																																																																							
年少人口	16,525人	14,776人	13,393人	12,369人																																																																							
身体障害者手帳交付数	4,043人	4,032人	—	—																																																																							
知的障害者「愛の手帳」交付者数	1,335人	1,604人	—	—																																																																							
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,424人	1,836人	—	—																																																																							
自立支援医療（精神通院）	1,446人	3,140人	—	—																																																																							
事業指標	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">全域計画推進（策定）会議等の開催回数</td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>回</td> <td>実績</td> <td>8</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地区別計画推進かわら版作製</td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>地区</td> <td>実績</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地区別計画推進懇談会の参加人数</td> <td>単位</td> <td>目標</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>人</td> <td>実績</td> <td>71</td> <td>69</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	全域計画推進（策定）会議等の開催回数	単位	目標	9	9	7	7	7	9	9	回	実績	8	7						地区別計画推進かわら版作製	単位	目標	12	12	12	12	12	12	12	地区	実績	12	12						地区別計画推進懇談会の参加人数	単位	目標	72	72	72	72	72	72	72	人	実績	71	69					
		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度																																																																		
全域計画推進（策定）会議等の開催回数	単位	目標	9	9	7	7	7	9	9																																																																		
	回	実績	8	7																																																																							
地区別計画推進かわら版作製	単位	目標	12	12	12	12	12	12	12																																																																		
	地区	実績	12	12																																																																							
地区別計画推進懇談会の参加人数	単位	目標	72	72	72	72	72	72	72																																																																		
	人	実績	71	69																																																																							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度：第1期瀬谷区地域福祉計画の策定 平成22年度：第2期瀬谷区地域福祉保健計画の策定 平成27年度：第3期瀬谷区地域福祉保健計画の策定 令和3年度：第4期瀬谷区地域福祉保健計画の策定 ※新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期 																																																																										

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	① 地域福祉保健計画推進事業	2,294	3,874	▲ 1,580	計画策定完了等による減
	② 福祉保健企画運営費	0	343	▲ 343	地域福祉保健計画推進事業への事業統合等による減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	2,294	4,217	▲ 1,923	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 吉川 正則	係長 上本 徹	運営企画係 谷 啓子
--------------------	----------	---------	------------

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域包括ケア推進事業 (旧: 高齢者支援事業)					

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,406					1,406
令和3年度	1,444					1,444
増△減	△ 38	0	0	0	0	△ 38

歳出				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
子	事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	1,500	1,500	1,500
算	市債+一般財源	2,074	2,120	1,684	1,500	1,500	1,500
決	事業費	2,074	2,120	1,684			
算	市債+一般財源	1,936	2,282	1,038			
		1,936	2,282	1,038			

事業概要	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるように、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される支援・サービス提供体制の構築を進めるため、関係機関とのネットワーク強化、区民への普及啓発・支援等を行います。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	老人福祉法、介護保険法、第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画 (よこはま地域包括ケア計画)							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「健康増進、福祉の充実」							
事業目的・効果 (必要性)	2025年に団塊の世代が75歳を迎え、4人に1人が高齢者となり、介護、医療、生活支援等のニーズが増大するため、高齢者やその家族を地域で支える仕組みづくりをより一層強化する必要があります。在宅高齢者をサポートする多職種の支援者同士の連携を進めるとともに、認知症に関する地域の関係者の連携や区民の理解の促進を図ることなどにより、地域包括ケアシステムの構築の推進に繋がります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷区高齢者数 令和3年3月末: 34,331人 (28.0%)、令和7年見込: 34,490人 (29.3%)、令和23年見込: 38,400人 (36.9%) 瀬谷区要介護認定者数 令和2年度: 7,377人 (3月末現在) 瀬谷区認知症高齢者数 (推計) 令和2年: 約6,200人、令和7年: 約7,100人 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
多職種交流会参加者数	単位	目標	80	80	40	60	80	80
	人	実績	61	58				
認知症サポーター養成人数	単位	目標	1300	1300	600	1300	1300	1300
	人	実績	1923	616				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度: 介護こころ相談室開始 (平成24年度~令和2年度は区配予算とあわせて実施) 平成27年度: 瀬谷区版エンディングノート作成開始 平成30年度: 高齢者見守りキーホルダー事業開始 (2月) 							

(単位: 千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	①	地域包括ケア推進事業	1,406	1,006	400	事業統合による増
	②	認知症地域支援事業	0	374	▲ 374	地域包括ケア推進事業への統合による減
	③	高齢期あんしん事業	0	64	▲ 64	地域包括ケア推進事業への統合による減
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
	細事業合計		1,406	1,444	▲ 38	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	門脇 由美	速水 英子 石丸 雅也	速水 英子 石丸 雅也

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	高齢者等地域拠点支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	510					510
令和3年度	1,520					1,520
増△減	△ 1,010	0	0	0	0	△ 1,010

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,020	1,520	2,520	510	510	510
	市債+一般財源	1,020	1,520	2,520	510	510	510
決算	事業費	1,043	1,439	2,192			
	市債+一般財源	1,043	1,439	2,192			

事業概要	身近な地域における多世代の交流による支え合いの推進を図るため、区内の高齢者等地域拠点の活動支援を行います。							
事業開始年度	令和元年度							
根拠法令・方針決裁等	「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業実施要綱 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「健康増進・福祉の充実」							
事業目的・効果 (必要性)	阿久和南部地区は高齢化率、要介護認定率、高齢者独居世帯の比率が高くなっています。 多くの高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できるよう、地域福祉・交流拠点「ぼかぼかプラザ」において、地域における高齢者・障害者・子育て世帯等への支援事業を通じて、地域における支え合いの推進を図ることを目的としています。							
根拠・データ等	【阿久和南部地区データ（令和2年9月末時点）】 高齢化率 29.34%（区：27.82%、市：24.61%） 要介護認定率 22.83%（区：21.75%、市：19.15%） 高齢者独居世帯割合 17.88%（区：17.19%、市：15.31%）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者数	単位	目標	8900	7600	3100	7600	7600	7600
	人	実績	7554.0	3031.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～30年度は区環境未来都市推進事業で実施 令和元年度事業開始 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 「ぼかぼかプラザ」支えあい推進事業	510	510	0	
	② 高齢者生活相談所運営支援事業	0	1,010	▲ 1,010	局事業への移行による減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		510	1,520	▲ 1,010	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	門脇 由美	石丸 雅也	石丸 雅也

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	障害者地域生活支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,430					1,430
令和3年度	1,430					1,430
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,159	2,104	2,054	1,430	1,430	1,430
	市債＋一般財源	2,159	2,104	2,054	1,430	1,430	1,430
決算	事業費	1,901	1,689	998			
	市債＋一般財源	1,901	1,689	998			

事業概要	障害者の地域生活を支援するため、障害理解促進の啓発や、障害者地域自立支援協議会の運営支援等を通じた関係機関のネットワーク作りを進めます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者基本法、知的障害者福祉法、身体障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 施策「健康増進、福祉の充実」、瀬谷区地域福祉保健計画							
事業目的・効果(必要性)	<p>障害者支援の地域移行・地域定着が進むなかで、障害者が暮らしやすい地域づくりが求められています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者が地域で安心して生活できるよう、地域住民の障害理解の促進が必要です。 ・障害者地域自立支援協議会など関係機関とのネットワーク作りを進め、地域で障害者を支える体制づくりが必要です。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷区身体障害者手帳所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度4,095人、2年度4,037人、3年度4,080人(見込)、4年度4,080人(見込) ・瀬谷区知的障害者「愛の手帳」所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度1,536人、2年度1,604人、3年度1,654人(見込)、4年度1,704人(見込) ・瀬谷区精神障害者保健福祉手帳所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度1,740人、2年度1,836人、3年度1,936人(見込)、4年度2,036人(見込) ・瀬谷区自殺者数(人口動態データ) <実績推移>元年18人、2年20人(見込)、3年20人(見込)、4年20人(見込) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自立支援協議会 交流会議 開催回数	単位	目標	3	3	3	3	3	3
	回	実績	3.0	2.0				
駅等での自主製 品の販売	単位	目標	4	4	4	4	4	4
	回	実績	3.0	2.0				
自殺対策啓発講 演会	単位	目標	200	50	50	200	200	200
	人	実績	中止	43				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度 事業開始 ・平成25年度 障害者総合支援法 施行 ・令和2年度 地域生活支援拠点整備 							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① ネットワーク活動事業	330	430	▲ 100	購入物品の見直しによる減
	② 障害理解促進事業	550	450	100	パンフレット更新に係るデザイン料等の増
	③ 自殺対策啓発事業	550	550	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,430	1,430	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 門脇 由美	係長 中込 信人	係 中込 信人
--------------------	----------	----------	---------

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	まちの安全支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,406	0	166	0		5,240
令和3年度	5,604	0	250	0		5,354
増△減	△ 198	0	△ 84	0	0	△ 114

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	4,696	4,379	4,779
市債+一般財源	4,696	4,379	4,779
決算 事業費	4,568	4,246	5,423
市債+一般財源	4,568	4,246	5,423

令和5年度	令和6年度	令和7年度
5,406	5,406	5,406
5,240	5,240	5,240

事業概要	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体との連携を図りながら、区民の防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。また、駅周辺において放置自転車対策を実施します。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区特殊詐欺等防止機器貸与事業実施要綱、瀬谷区地域防犯自主活動補助金交付要綱、瀬谷区防犯活動団体補助金交付要綱、横浜市自転車等の放置防止に関する条例、自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、スクールゾーン推進組織活動費補助金交付要綱							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 II 目標達成に向けた施策「3 安全・安心のまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	区内における特殊詐欺の発生件数は減少傾向にありますが、依然として高齢者を中心に被害が発生しており、地域防犯に関する啓発活動が必要です。また、区内で発生する交通事故のうち、子ども・高齢者に関する事故が多くの割合を占めているため、子ども・高齢者への啓発活動を行います。さらに、駅周辺における放置自転車対策を実施します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内犯罪認知件数 <実績推移>元年16,129件、2年13,567件、3年13,567件(見込)、4年13,567件(見込) ・市内交通事故発生件数 <実績推移>元年8,398件、2年7,398件、3年7,398件(見込)、4年7,398件(見込) ・市内自転車等放置台数 <実績推移>元年6,111件、2年5,176件、3年5,176件(見込)、4年5,176件(見込) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区内犯罪認知件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	760	551				
区内交通事故発生件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	412	364				
区内自転車等放置台数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	台	実績	105	49				
事業スケジュール	平成22年度 事業開始 令和2年度 防犯啓発事業(瀬谷区特殊詐欺等防止機器貸与事業)開始 ※令和4年度に細事業の構成を変更。3年度までの細事業「地域防犯支援事業」・「交通マナーアップ事業」を、前者は「地域ふれあい110番」事業・「防犯啓発事業」・「防犯活動団体等補助事業」に、後者は「交通安全対策事業」・「スクールゾーン対策助成事業」・「放置自転車対策事業」に、それぞれ分割							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	「地域ふれあい110番」事業	132	60	72	実績に基づく増
	②	防犯啓発事業	590	860	▲ 270	実績に基づく減
	③	防犯活動団体等補助事業	1,025	1,025	0	
	④	交通安全対策事業	1,054	1,054	0	
	⑤	スクールゾーン対策助成事業	1,505	1,505	0	
	⑥	放置自転車対策事業	1,100	1,100	0	
	細事業合計		5,406	5,604	▲ 198	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松岡 文和	曾宮 幸之助	倉持 さやか

事業区課	瀬谷区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	災害等対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	11,493					11,493
令和3年度	12,011					12,011
増△減	△ 518	0	0	0	0	△ 518

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	8,243	11,253	11,567	11,493	11,493	11,493
	市債＋一般財源	8,243	11,253	11,567	11,493	11,493	11,493
決算	事業費	9,223	12,300	13,073			
	市債＋一般財源	9,332	12,300	13,073			

事業概要	瀬谷区民の自助・共助意識の向上を図り、災害発生時の被害軽減を図ります。また、区本部運営の機能強化のため、本部運営体制及び災害時医療体制の整備・強化を図るとともに、災害対策用物品を充実させ、危機への迅速・適切な対応を図ります。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷区災害ボランティア育成事業補助金交付要綱 瀬谷区感震ブレイカー等設置推進事業補助金交付要綱・市防災計画 							
運営方針等との関連	II目標達成に向けた施策 3安全・安心のまちづくり							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災関係事業について <ul style="list-style-type: none"> 地域防災拠点運営を円滑に実施するため、地域、学校及び区役所が平時より連携して訓練等を実施します。また、感染症対策用物資を含め、必要な物品を整備します。 防災プログラム、感震ブレイカー設置補助事業及び防災講演会を展開することにより、発災時の被害軽減を目的として事業展開します。 区民へ迅速かつ正確な災害情報を伝達するため、防災スピーカー及びリアルタイム浸水警報装置を運用します。 ●災害時医療体制整備事業について <ul style="list-style-type: none"> 災害時に区と医療関係者が迅速・的確に連携し、区民が重症度に応じた医療を受けられる体制を整備します。 平時から区民に災害時医療体制や自助・共助について啓発を図り、いざというときに備えられるようにします。 ●区本部運営関係事業について <ul style="list-style-type: none"> 震災対応や近年激甚化する風水害対応への備えとして、訓練の実施や物品の整備を実施し区本部機能強化します。 新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、区庁舎や避難(場)所の感染症対策を継続して実施します。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ●震災時の瀬谷区被害想定(元禄型関東地震) <ul style="list-style-type: none"> 【建物被害】・揺れによる建物全半壊被害：4,397棟 ・火災による焼失棟数：891棟 【人的被害】・死者数：48人 ・負傷者数：548人 ・避難者数：12,948人 ●瀬谷区内の浸水想定区域(2級河川「境川」「和泉川」「阿久和川」 準用河川「相沢川」) <ul style="list-style-type: none"> 計画規模：1,328世帯 3,082人 ・最大規模：3,536世帯 8,203人(令和3年7月現在) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
感震ブレイカー設置数	単位	目標	-	-	650	250	-	-
	世帯	実績	-	-				
防災講演会聴講者数	単位	目標	100	200	1000(WEB含)	1000(WEB含)	1000(WEB含)	1000(WEB含)
	人	実績	35.0	84.0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	通年で実施							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域防災関係事業	7,708	8,650	▲ 942	感震ブレイカー設置補助事業見直しによる減
	② 災害時医療体制整備事業	738	1,032	▲ 294	カーフレットの配布部数や配布方法の変更による通信運搬費の減
	③ 区本部運営関係事業	3,047	2,329	718	感染症対策等物品購入増加による増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		11,493	12,011	▲ 518	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務	係
	鈴木 康幸	小山 智央	金子 剛	

事業区課	瀬谷区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	食の安全と動物愛護等推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	794						794
令和3年度	778						778
増△減	16	0	0	0	0	0	16

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	863	1,072	1,074			
決算	市債+一般財源	863	1,072	1,074	794	794	794
	事業費	766	1,208	890			
	市債+一般財源	766	1,208	890	794	794	794

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設、学校行事、地域活動での食中毒・感染症予防のために、衛生講習会や予防啓発を実施する。 ・ペット飼育のマナー向上や動物愛護精神の涵養のために、マナー向上啓発や飼い主向け講習会を実施する。 ・飼い主のいない猫問題への対策として、市民ボランティア等との協働により不妊去勢手術と適正管理を推進する。 							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・動物の愛護及び管理に関する法律 ・横浜市猫の適正飼育ガイドライン 他 							
運営方針等との関連	区政運営方針の目標達成に向けた施策「安全・安心のまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒、レジオネラ、ノロウイルス等の感染症について、蔓延のリスクが高い保育園・幼稚園や小学校、高齢者施設等の自主衛生管理の定着と推進が必要である。 ・地域の催事やボランティア活動、学校行事等では食品が提供される機会が多く、こうした活動の衛生確保のために継続的の支援が必要である。 ・ペットの飼育に関する苦情は多く寄せられており、飼い主のマナー向上や動物愛護の推進に向けた継続的な啓発が必要である。 ・飼い主のいない猫による糞尿等の近隣トラブルが多く寄せられており、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく飼い主のいない猫の適切な管理方法について啓発が必要である。市民ボランティアの活動を支援し、行政、地域、ボランティアの三者が連携して飼い主のいない猫の不妊去勢手術の推進に取組むことが必要である。 							
根拠・データ等	市内食中毒発生状況 令和2年37件(患者数93人)、令和元年度50件(患者数258人)平成30年度52件(患者数381人) 区内食中毒発生状況 令和2年1件(患者数2人)、令和元年度3件(患者数36人)、平成30年度1件(患者数1人) 瀬谷区犬の登録頭数 令和2年度6427頭、令和元年度6400頭、平成30年度6419頭							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
食中毒の発生	単位	目標	0	0	0	0	0	0
	件	実績	3.0	1.0				
犬猫等の引き取り頭数	単位	目標	90	80	70	60	50	40
	頭	実績	87.0	99.0				
犬猫等の苦情相談	単位	目標	200	200	180	160	140	120
	件	実績	190	263				
事業スケジュール	平成15年度事業開始 令和2年度飼い主のいない猫対策事業開始 令和3年度猫ボランティア登録制度開始、地域猫シンポジウム開催 令和4年度猫ボランティア研修実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 食中毒・感染症予防対策事業	275	386	▲ 111	実績による減
	② 動物愛護普及啓発事業	260	192	68	実績による増
	③ 飼い主のいない猫対策支援事業	259	200	59	実績による増、ボランティア保険等による増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		794	778	16	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生 係
	笹尾 忠由	白川 冬	白川 冬

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	9,611	0	0	95		9,516
令和3年度	7,355	0	0	275		7,080
増△減	2,256	0	0	△180	0	2,436

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	6,681	8,594	6,644	7,800	7,800	7,800
	市債+一般財源	6,681	7,619	6,294	7,800	7,800	7,800
決算	事業費	5,835	9,102	6,617			
	市債+一般財源	5,835	8,674	6,470			

事業概要	水・緑豊かな環境や歴史などの“地域資源”を活用した様々な取組により、瀬谷の魅力を総合的・継続的に発信します。また、2027年の国際園芸博覧会開催に向けて、地域の機運醸成に取り組みます。								
事業開始年度	平成23年度								
根拠法令・方針決裁等	—								
運営方針等との関連	令和3年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」								
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に瀬谷区の様々な魅力を知ってもらうことで、瀬谷区に対する愛着を持ってもらい、地域の活性化と区民満足度の向上につなげていく。 ・令和元年度瀬谷区区民意識調査では、瀬谷区民の定住意向は市全体よりも高いものの、近隣区と比べると低い結果が出ている。 ・平成18年をピークに区の人口は減少に転じていることから、地域に人を呼ぶことでまちをより活性化させるため、区内外に向けて区の魅力をPRし、定住・転入意向者を増加させる。 ・2027年に旧上瀬谷通信施設で開催される国際園芸博覧会について、全ての事業において区民の認知度の向上と開催成功に向けて地域が一体となった機運醸成を図ることで、瀬谷の魅力の世界中の方々に発信する。 								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度瀬谷区区民意識調査 定住意向 74.5% ・令和2年度市民意識調査 定住意向 69.3% ・平成30年度旭区区民意識調査 定住意向 79.3% ・令和元年度瀬谷区区民意識調査 国際園芸博覧会開催に向けた市の招致活動の認知度 67.9% 								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
瀬谷への好感度(各事業アンケート)	単位	目標	—	—	75	75	75	80	80
	%	実績	—	—					
国際園芸博覧会への関心度(各事業アンケート)	単位	目標	—	—	50	55	60	65	70
	%	実績	—	—					
市民意識調査瀬谷区定住意向	単位	目標	70	70	75	75	75	75	75
	%	実績	60.5	72.2					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 瀬谷の魅力オープンガーデン事業 開始 ・平成30年度 瀬谷のアジサイPR事業(旧アジサイの名所づくり事業) 開始 ・令和元年度 イルミネーション事業 開始 ・令和2年度 国際園芸博覧会機運醸成事業、瀬谷の農PR事業(旧せやマルシェ事業) 開始 ・令和3年度 定住促進に向けた魅力PR事業 開始 ・令和4年度 国際園芸博覧会機運醸成事業 拡充 								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 国際園芸博覧会機運醸成事業	1,615	1,015	600	新規ワークショップ開催等による増
	② 定住促進に向けた魅力PR事業	1,500	1,500	0	
	③ 瀬谷の魅力オープンガーデン事業	1,148	1,048	100	新規に作成する告知チラシの印刷費の増
	④ 農の魅力PR事業	410	260	150	新規に作成するマップのデザイン費の増
	⑤ イルミネーション事業	2,510	2,210	300	瀬谷駅南口でも実施を検討することによる増
	⑥ 瀬谷のアジサイPR事業	640	640	0	
	⑦ アジサイ周辺の樹木剪定・伐採事業	1,000	0	1,000	新規事業のため
	⑧ 瀬谷の歴史・見どころ発信事業	308	202	106	ふるさと歴史さんぽ道の活用促進による増
	⑨ 各種ツールによる魅力発信事業	480	480	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	9,611	7,355	2,256	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 堀内 久一	係長 道原 洋介	企画調整 係 岡本 有生
--------------------	----------	----------	--------------

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	まちづくり推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,406	0	0	0		6,406
令和3年度	6,514	0	0	0		6,514
増△減	△ 108	0	0	0	0	△ 108

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,646	5,888	6,130	6,200	6,200	6,200
	市債+一般財源	4,646	5,888	6,130	6,200	6,200	6,200
決算	事業費	4,722	4,959	5,237			
	市債+一般財源	4,722	4,959	5,237			

事業概要	時代とともに変化する区民ニーズを捉え、いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりに向けた施策に取り組んでいきます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度 瀬谷区運営方針 II.目標達成に向けた施策「魅力の創出、区民協働の推進」							
事業目的・効果(必要性)	いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、時代とともに変化する区民ニーズを迅速かつ的確に捉え、運営方針や様々な施策に反映させる必要があります。また、施策の推進のためには区民の意向を十分に踏まえ、関係機関との連絡・調整などを行う必要があります。特に旧上瀬谷通信施設において、土地利用の検討が進められるとともに国際園芸博の開催にむけて取り組んでおり、そうした状況を踏まえ、より一層区民意向の把握や関係機関との連絡調整に取り組むことが求められています。							
根拠・データ等	令和元年度区民意識調査結果 「お住まいの周辺の総合的な環境」について、「満足」「やや満足」と答えた人の割合、73.4%。 「お住まいの周辺の総合的な環境」について、以前比べて「良くなった」と答えた人の割合は10.3%に対し、悪くなったと答えた人の割合は4.4%となっており、「良くなった」と答えた人の割合が5.9ポイント上回っている。							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
お住まい周辺の総合的な環境への満足度	単位	目標				75		
	%	実績	73.4	-				
良くなったと答えた人と悪くなったと答えた人の差	単位	目標				6		
	%	実績	5.9	-				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成19年：瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会 設立 平成27年：瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会 設立							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	まちづくり調整	5,405	6,509	▲ 1,104	事業内容精査による減
	②	ムクドリ等対策	1,001	0	1,001	新規事業による増
	③	区民文化センター愛称募集	0	5	▲ 5	事業終了による減
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
	細事業合計		6,406	6,514	▲ 108	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 堀内 久一	係長 竹本 健吾	企画調整 係 村野 晃代
--------------------	----------	----------	--------------

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	環境行動推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,591	0	0	0		2,591
令和3年度	2,499	0	0	0		2,499
増△減	92	0	0	0	0	92

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	1,950	2,576	2,770	2,590	2,590
市債+一般財源	1,950	2,576	2,770	2,590	2,590	2,590
決算	1,898	1,864	1,469			
市債+一般財源	1,898	1,864	1,469			

事業概要	区民が身近で気軽に取り組むことができる温暖化防止行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、行動への一助とする。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に関する法律							
運営方針等との関連	令和3年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」							
事業目的・効果(必要性)	地球温暖化の主な原因であるCO ₂ の排出量のうち、横浜市では家庭からの排出量が占める割合が高いのが特徴です。そこで、家庭からのCO ₂ 排出量削減のため、区民が家庭でできる省エネや緑化などの身近な温暖化防止行動を実践しやすくなるような支援が求められています。SDGsの達成への貢献及び脱炭素社会の実現に向けて、特に行動を起こしていない人の後押しをするための普及啓発と子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことに重点を置いた取り組みを推進し、区民の環境や環境の取り組みへの高い関心度を維持します。							
根拠・データ等	・横浜市における部門別の二酸化炭素排出量（横浜市記者発表資料「2019年度の市内の温室効果ガス排出量（速報値）」より（3年6月7日発表）） <実績> 家庭部門24.8%/業務部門19.4%/産業部門10.3%/エネルギー転換部門22.2%/運輸部門20.5%/廃棄物部門2.8%							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
環境や環境の取り組みに関心がある区民の割合（環境に関する市民意識調査）	単位	目標	—	—	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	86.4	77.8				
電気やガス、水のムダづかいに気をつけている区民の割合（環境に関する市民意識調査）	単位	目標	—	—	90.0	90.0	90.0	90.0
	%	実績	88.6	88.9				
事業スケジュール	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成22年度：環境行動普及啓発事業、緑化推進事業開始 平成24年度：節電啓発事業開始 平成30年度：環境行動普及啓発事業 スポGOMI大会初開催							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 環境行動普及啓発事業	1,707	997	710	節電啓発事業統合に伴う増
	② 緑化推進事業	884	892	▲ 8	講師謝金見直しによる減
	③ 節電啓発事業	0	610	▲ 610	環境行動普及啓発事業と統合に伴う減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,591	2,499	92	

課長	係長	企画調整
堀内 久一	道原 洋介	大石 広隆

本資料は、公正・適正に作成しました。

令和 4 年度 事業計画書

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	瀬谷区 3 R 夢推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,355	0	0	0		1,355
令和3年度	1,955	0	0	0		1,955
増△減	△ 600	0	0	0	0	△ 600

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,700	1,955	2,155	2,155	2,155	2,155
	市債＋一般財源	1,700	1,955	2,155	2,155	2,155	2,155
決算	事業費	1,689	1,706	1,762			
	市債＋一般財源	1,689	1,706	1,762			

事業概要	<p>区民が身近で気軽に取り組むことができる3R行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、3R夢プランを一層推進します。また、まちの美化、ごみの減量化・資源化に取り組み、ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの削減を目指します。</p>								
事業開始年度	平成17年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン推進計画）、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理に関する条例								
運営方針等との関連	魅力の創出、区民協働の推進								
事業目的・効果（必要性）	<p>家庭から出るごみと資源の総量を減らし、ごみ処理に伴う温室効果ガスの総量を削減することが求められています。また、2050年脱炭素社会の実現やSDGsの達成に向けた動きなど、廃棄物処理を取り巻く社会の動向の変化を踏まえ、プラスチック対策や食品ロス削減などの社会課題の解決に向けた取組が求められています。</p> <p>このため、地域への3R行動の普及啓発によるごみ量の減量化・資源化の推進や、プラスチックごみ削減・食品ロス削減に向けた取組などを通じ、更なる3R行動の推進を図る必要があります。</p>								
根拠・データ等	<p>【瀬谷区 燃やすごみ実績】 燃やすごみ量（トン） 2年度19,870 元年度19,351 30年度19,033 29年度19,291 28年度19,448 1人1日あたりの燃やすごみ量（グラム） 2年度447 元年度433 30年度424 29年度428 28年度429</p> <p>【瀬谷区 ごみと資源の総量実績】 ごみと資源の総量（トン） 2年度27,892 元年度27,020 30年度26,906 29年度27,411 28年度27,814 1日あたりのごみと資源の総量（グラム） 2年度626 元年度604 30年度600 29年度608 28年度613</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
瀬谷区 ごみと資源の総量	単位	目標	26,748	26,376	26,589	→	→	→	26,456
	グラム	実績	27,020	27,869					
クリーンストリート事業登録団体数	単位	目標	11	11	11	11	11	11	11
	団体数	実績	11	11					
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	<p>1 3R夢推進事業 (1) 3R夢啓発：3R夢啓発、チラシ等の配布、環境学習の開催、イベント・キャンペーンの実施（通年実施） 啓発動画作成・配信（10月） (2) リユース文庫・リユース掲示板の運営（通年実施） (3) 子育て世帯3R夢推進事業（通年実施） (4) フードドライブの受付（常時受付） (5) きれいなまちづくり推進事業 区民清掃活動の支援、不法投棄防止事業（通年） クリーンストリート事業：花苗配布（6月、11月）</p>								

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	3R夢推進事業	970	1,570	▲ 600
②	きれいなまちづくり推進事業	385	385	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	1,355	1,955	▲ 600	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 澤野 仁晴	係長 長田 弘房	資源化推進担当 係 長田 弘房
--------------------	----------	----------	-----------------

事業区課	瀬谷区	地域振興 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	区民活動支援事業							

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	11,586	0	0	0			11,586
令和3年度	12,004	0	0	0			12,004
増△減	△ 418	0	0	0	0	0	△ 418

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	6,883	8,549	9,387	11,586	11,586	11,586
市債+一般財源	6,883	8,549	9,387	11,586	11,586	11,586
決算	7,178	8,806	8,390			
市債+一般財源	7,178	8,806	8,390			

事業概要	区役所が地域社会と協働して地域の活性化・地域力の向上を図るために、区民の活動を様々な視点から支援します。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区いきいき区民活動支援補助金交付要綱、横浜市市民協働条例、生涯学習基本構想第3次計画、瀬谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、瀬谷区自治会町内会広報掲示板整備事業補助金要綱、瀬谷区生き生き区民顕彰要綱、瀬谷区スポーツ協会補助金交付要綱、瀬谷区学校スポーツ振興補助金要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第二次横浜市読書活動推進計画、第二次瀬谷区読書活動推進目標、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、横浜市中期計画							
運営方針等との関連	魅力の創出・区民協働の推進							
事業目的・効果 (必要性)	区役所は区民・地域団体とコミュニケーションを密にし、区民の活動を様々な視点から支援し、地域の課題解決につなげ、協働して地域振興を図る必要があります。 本事業では、各種ボランティア活動、国際交流、読書推進、スポーツ振興、自治会町内会、地域人材発掘育成、区民顕彰など多角的な視点から、区民の主体的な地域づくりを支援し、地域の活性化や課題解決を後押しします。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度いきいき区民活動支援補助金交付決定実績 令和2年度瀬谷区スポーツ協会補助金交付実績 瀬谷区在住外国人人口 平成29年1623人、平成30年度1713人、令和元年度1798人、令和2年度2002人、令和3年度1991人							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
いきいき区民活動支援事業(いきいき区民活動支援補助金交付件数)	単位	目標	16	18	19	23	23	23
	件	実績	16	18				
区民活動支援に関する講座実施回数	単位	目標	20	21	31	29	29	29
	回	実績	20	22				
	単位	目標						
	人	実績						
事業スケジュール	平成22年度：事業開始 平成29年度：生涯学習支援事業、読書との出会い応援事業開始 令和2年度：いきいき区民活動支援事業の拡充(地域人材発掘育成事業開始) 令和3年度：いきいき区民活動支援事業の拡充(区民活動応援事業開始)、国際交流支援事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① いきいき区民活動支援事業	6,709	6,265	444	補助金申請団体増の見込みによる増
	② 生涯学習支援事業	215	253	▲ 38	区民活動応援事業との整理・統合による増
	③ 国際交流支援事業	225	610	▲ 385	事業進捗による減
	④ 読書との出会い応援事業	1,578	1,683	▲ 105	記念品単価見直しによる減
	⑤ スポーツ振興事業	510	510	0	
	⑥ 地域活動推進事業	2,123	2,423	▲ 300	感謝会開催方法見直しによる減
	⑦ 生き生き区民顕彰事業	226	260	▲ 34	顕彰対象者減による減
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		11,586	12,004	▲ 418	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民協働推進係
	松岡 文和	山本 雅子	樋口 雄祐

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	瀬谷フェスティバル					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	7,900	0	0	0		7,900
令和3年度	7,900	0	0	0		7,900
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,000	6,500	6,700	7,900	7,900	7,900
	市債+一般財源	5,000	6,500	6,700	7,900	7,900	7,900
決算	事業費	5,043	6,332	1,479			
	市債+一般財源	5,043	6,332	1,479			

事業概要	区民の連帯感を深め、ふるさと意識の高揚を図るためのイベントとして瀬谷フェスティバルを開催するため、瀬谷フェスティバル実行委員会に補助金を交付します。								
事業開始年度	平成18年度								
根拠法令・方針決裁等	瀬谷フェスティバル実行委員会規約、瀬谷フェスティバル補助金交付要綱								
運営方針等との関連	魅力の創出・区民協働の推進								
事業目的・効果 (必要性)	瀬谷フェスティバルの実施を通じて、瀬谷で暮らすことの幸せを実感していただけるよう、区が進める「幸せが実感できる瀬谷づくり」の定着を図ります。 また、当イベントは、協働により潤い溢れる地域社会を形成するためのツールとして、区民や団体・ボランティア、企業など関係する多くの方々の参画を得て開催します。 なお、安全安心な瀬谷フェスティバルを開催するため、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したうえで、十分な感染症対策を講じます。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース数 令和2年度：0、令和元年度：102、平成30年度：110、平成29年度：110 ・フリーマーケット数 令和2年度：0、令和元年度：44、平成30年度：49、平成29年度：65 ・協賛企業、事業者数 令和2年度：0、令和元年度：44、平成30年度：41、平成29年度：40 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。また、平成29年度は荒天中止のため、中止決定前の予定数を掲載しています。								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
来場者数	単位	目標	65000	65000	2500	3000	5000	10000	30000
	名	実績	65000	0					
出店団体数	単位	目標	100	100	20	30	50	100	100
	団体	実績	92	0					
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度：事業開始（瀬谷まつりから瀬谷フェスティバルへ名称を変更） ・令和元年度：区制50周年イベントとして実施 								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 瀬谷フェスティバル	7,900	7,900	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		7,900	7,900	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松岡 文和	曾宮 幸之助	飯山 遥

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	商工業元気アップ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,905	0	0	0		3,905
令和3年度	3,505	0	0	0		3,505
増△減	400	0	0	0	0	400

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	3,317	4,267	4,705	3,905	3,905	3,905
	市債+一般財源	3,317	4,267	4,705	3,905	3,905	3,905
決算	事業費	3,301	3,912	2,618			
	市債+一般財源	3,301	3,912	2,618			

事業概要	区役所が地域と協働して商工業の活性化を図ります。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	商店街元気づくり事業補助金交付要綱、瀬谷の逸品認定要綱							
運営方針等との関連	魅力の創出・区民協働の推進							
事業目的・効果 (必要性)	<p>区役所は、区民個人・団体とコミュニケーションを密にし、協働して地域振興を図る必要があります。そのため、商工業の活動を様々な視点から支援し、課題解決につなげる必要があります。</p> <p>令和2年度の商店街実態調査によると、瀬谷区の商店街の悩みとして「売上・来街者の減少」が挙げられています。区役所としては、瀬谷区商店街連合会と連携し、売上・来街者の促進につながる事業を展開し、商店街の振興、にぎわい創出に繋がります。</p> <p>また、区内中小製造業者等の取組紹介等を行い、ものづくりへの支援を図ります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 市内商店街の悩み【商店街実態調査(令和2年度)】 売上・来街者の減少(36.1%)、魅力ある店舗の不足(25.3%)、商店街活動を担う人材の不足(19.3%) 瀬谷区商店街の悩み【商店街実態調査(令和2年度)】 売上・来街者の減少(50.0%)、魅力ある店舗の不足(33.3%)、商店街活動を担う人材の不足(33.3%) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
瀬谷の逸品リーフレット配布数	単位	目標	2000	3000	3000	3000	3000	3000
	部	実績	2000					
ウォーキングイベント参加者数	単位	目標	500	1000	1500	2000	2000	2000
	名	実績	326	0				
補助金交付件数	単位	目標	8	8	8	8	8	8
	件	実績	7	2				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度 事業開始(瀬谷の逸品事業、商店街元気づくり事業) 平成26年度 事業開始(ものづくり支援事業) 令和2年度 瀬谷の逸品追加認定 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 瀬谷の逸品事業	1,080	680	400	新規事業による増
	② 商店街元気づくり事業	2,455	2,155	300	イベント実施方法の変更による増
	③ ものづくり支援事業	370	670	▲ 300	設営が不要になったことによる減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		3,905	3,505	400	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松岡 文和	曾宮 幸之助	飯山 遥

事業区課	瀬谷区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	窓口サービス向上事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,585					3,585
令和3年度	3,014					3,014
増△減	571	0	0	0	0	571

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,262	1,328	1,297	3,585	3,585	3,585
	市債+一般財源	1,262	1,328	1,297			
決算	事業費	1,147	929	16,081			
	市債+一般財源	1,147	929	16,081			

事業概要	区役所全体の窓口サービスの向上を目指し、区職員として必要とされる基本的な知識を身につけ、市民の立場に心を配ったおもてなしができる職員を育成します。また、区民満足度の向上を目的とし、フロア案内のボランティアの配置を行います。併せて、来庁者が快適に安心して過ごしていただけるよう、区庁舎の環境を整備します。							
事業開始年度	平成25年度							
根拠法令・方針決裁等	せやまるサポーター運営要綱 せやまるサポーター功労者感謝状贈呈要綱							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 区民満足度の向上							
事業目的・効果(必要性)	<p>区民からの多岐にわたる要望に応えるため、業務に関する正確な知識を持ち、公平かつ迅速で心のこもった人権に配慮した対応のできる職員を育成し、区全体で対応力の向上を目指します。また、区民と協働し、親しまれる区役所づくりと区民サービスの向上を進めます。</p> <p>併せて、区民の方が快適に安心して庁舎をご利用いただけるよう、庁舎に関する区民のニーズに迅速に対応します。</p> <p>本事業は、各取り組みを通して「おもてなしの行政サービス」を実現し、区民満足度の向上に繋げることを目的としています。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民局実施による窓口サービス満足度調査結果の「満足+やや満足」比率は高い数値を維持しています。今後も継続して取り組むことで、窓口サービス満足度の高水準を維持・向上させ、区民満足度の向上に繋がります。 <実績推移> 平成29年度97.7% 平成30年度98.0% 元年度99.0% ※2年度、3年度は未実施 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
窓口サービス満足度調査	単位	目標	100	未実施	未実施	100	100	100
	%	実績	99.0	未実施				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>平成25年度：窓口サービス向上事業開始</p> <p>平成26年度：応対力向上研修を希望者受講制から全職員受講制へ変更</p> <p>令和2年度：Web会議環境の整備、窓口消毒作業、庁舎内レイアウト変更の実施</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 職員応対・接客向上研修	470	470	0	
	② せやまるサポーター	768	944	▲ 176	フロア案内ボード事業終了による減
	③ 庁舎環境整備事業	2,347	1,600	747	緊急案件対応費用の追加による増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	3,585	3,014	571	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	鈴木 康幸	半浦 淳	古田 史子

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	広報・広聴連携事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,932			60		1,872
令和3年度	1,252			60		1,192
増△減	680	0	0	0	0	680

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,059	1,607	2,632	1,932	1,932	1,932
	市債+一般財源	1,939	1,547	2,512	1,872	1,872	1,872
決算	事業費	1,459	2,477	2,269			
	市債+一般財源	1,363	2,429	2,161			

事業概要	幅広く区民から信頼される区役所を目指すため、HPやSNS等を含むさまざまな媒体の特性を生かし、区政情報を発信します。また、区独自の広聴制度として、「このはずく提案箱」や「区長とあったかトーク」を実施します。								
事業開始年度	平成21年度								
根拠法令・方針決裁等	インターネット情報受信ガイドライン、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」のデザイン使用に関する事務取扱要領、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」着ぐるみ使用要領、瀬谷区「区長とあったかトーク」実施要領、瀬谷区「このはずく提案箱」事業の実施に関する取扱要綱								
運営方針等との関連	目標達成に向けた組織運営、区民満足度の向上								
事業目的・効果(必要性)	<p>【広報事業】</p> <p>①区ホームページやSNSによる情報発信・情報提供 各種広報媒体の特性を生かしながら、区政情報やイベント情報等の発信・提供の充実を図ります。</p> <p>②区マスコットキャラクター活用事業 イラストや着ぐるみの貸出しを通じて、区民の瀬谷区への愛着心を高め、区民に親しまれる区政運営を円滑に行います。</p> <p>○転入者等向けの広報印刷物</p> <p>③瀬谷区民生活ガイド「せや百科」 行政情報をはじめとした瀬谷区での生活に役立つ情報を掲載し、転入者をはじめとした区民に提供します。</p> <p>④「瀬谷区民生活・防災マップ」 区内の地形、施設、防災情報等をわかりやすく掲載した地区・情報を、転入者等に提供します。</p> <p>【広聴事業】</p> <p>町のご意見番制度 瀬谷区独自の広聴制度を実施することで、区民満足度の高い区政運営につなげます。</p> <p>⑤このはずく提案箱 区役所の来庁者等が気軽に意見等を投稿できる「このはずく提案箱」を区役所各階に設置します。</p> <p>⑥区長とあったかトーク 区長が区内の地域活動団体の活動場所を訪問し、意見交換をします。</p>								
根拠・データ等	<p>【広報事業】</p> <p>①区ホームページアクセス件数 231,179件、Twitterフォロワー数 873人、Instagramフォロワー数 1,042人（令和2年度）</p> <p>③④市外からの転入届出件数（せや百科、瀬谷区民生活・防災マップ配布対象） 令和元年度 3,788 平成30年度 3,638 平成29年度 3,840</p> <p>【広聴事業】</p> <p>⑤このはずく提案箱受付件数 令和2年度 36 令和元年度 39 平成30年度 49</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
【広報事業】区公式SNS合計フォロワー数	単位	目標	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000
	人	実績	1,078	1,915					
【広聴事業】区長とあったかトーク実施団体数	単位	目標	2	1	1	1	1	1	1
	団体	実績	2	1					
事業スケジュール	<p>①区ホームページやSNSを活用した情報発信・情報提供…通年</p> <p>②区マスコットキャラクター活用事業…通年（デザイン使用管理・着ぐるみ運用 通年、障害者支援団体への情報提供 6月）</p> <p>③令和4年度版瀬谷区民生活ガイド「せや百科」8月発行</p> <p>④「瀬谷区民生活・防災マップ」3月発行</p> <p>⑤「このはずく提案箱」通年実施、「区長とあったかトーク」10月～3月実施</p>								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 広報事業	1,912	297	1,615	事業統合及び瀬谷区民生活・防災マップ隔年発行による増
	② 広聴事業	20	15	5	事務用品購入による増
	③ マスコットキャラクター活用事業	0	360	▲ 360	広報事業への事業統合による減
	④ せや百科	0	580	▲ 580	広報事業への事業統合による減
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,932	1,252	680	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 堀内 久一	係長 會田 文恵	広報相談係 鴨下 真梨子
--------------------	-------------	-------------	-----------------